



共愛学園前橋国際大学で防衛講話 ～防衛講話を通じて新たな学び～

2等海曹 山口 良明



自衛隊群馬地方協力本部（本部長 小久保 勝之 防衛事務官）は、令和6年11月12日（火）に私立共愛学園前橋国際大学において、東部方面総監部及び国際平和協力センターからハイレベルリクルーターの支援を受け防衛講話を実施しました。

学校法人 共愛学園 須田理事長への表敬訪問及び防衛講話を開催する西館准教授と意見交換を実施しました。

その後、講師である桑原 和洋 1等陸佐及び、渡邊 邦嘉 1等陸佐による防衛駐在官時の経験談や海外における自衛隊の活動等について、大学2年生23名と一般幹部候補生（海上要員）、入校予定者の大学4年生1名を含む計24名に対して実施しました。

学生は、真剣な眼差しで防衛講話に聞き入り、ワークシートにメモを取りまとめていました。

防衛講話終了後に学生との懇談が行われ、学生からは、両講師に対して、多くの質問・疑問が投げかけられました。

学生からは「防衛講話と聞いた時は難しい話だと思っていました。しかし、日本だけでなく、様々な国と関係を持ち、交流している話を聞き、とても興味深く学びになりました。」「自衛隊は強いイメージがあるよね。」と桑原さんも話していましたが、私の中でも自衛隊に競争というイメージがあり、今回も少し暗い話かと思っていました。でも、今回の話を聞いて、そのイメージが変わりました。」「日本は海に囲まれているから安全な国である。」と聞き、だからこそ、自衛隊の方々は、違う視点で、他国から学ぶという形をとっていると知り尊敬できました。また、私は、英語が苦手で、覚えることを少し諦めかけていましたが、最後の話を聞いて、もっと頑張ってみようと思いました。

今回学生からは、「イメージが変わったこと」「違う視点で学べることがあること」「相手の良い所に注目すること」「女性が活躍でき、性別が関係ないことなど、多く学ぶことができました。ありがとうございました。」という多くの感想がありました。

自衛隊群馬地方協力本部は、ハイレベルリクルーターによる講義や講話等を通じて、多くの学生に対して自衛隊の活動を周知できるよう、募集広報活動に邁進していきます。

